



2022年5月26日

株式会社 阿波銀行

株式会社ウェイビーの「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、株式会社ウェイビー（代表取締役 伊藤 健太、本社：東京都渋谷区）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	株式会社ウェイビー
所在地	東京都渋谷区代々木一丁目 36 番 4 号全理連ビル
代表者	伊藤 健太
業種	起業、経営、マーケティング等の各種情報収集と情報提供サービス業
設立	2010 年 8 月 27 日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年5月26日



株式会社ウェビー 代表取締役 伊藤 健太

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール
社会	従業員のウェルビーイングの向上	心身ともに健康で、働きがいをもって働けるよう、社員の健康の維持に努めるとともに、持続可能な働き方の実現をサポートします。	①ストレスチェックの実施	
			②ストレスチェックの実施率100%	
社会・経済	地域活性化・産業振興	持続可能な地域づくりのため、地域の社会的・経済的な活性化の取組を行います。	①(1) 地域問題の解決に資する製品・サービスの開発 (2) 地域教育機関からのインターンシップ受け入れ	
			②(1)2024年までに新製品・サービスを3件開発 (2)年間5人受け入れ	
環境・社会・経済	リスク管理体制の整備	自らが環境・地域社会に与える影響について認識し、社会的リスクの低減活動に努めます。	①(1) リスクマネジメント体制の整備、担当部署の設置 (2) 情報漏えいに関する研修の実施 (3) コンプライアンスに関する研修の実施	
			②(1) 2022年度中にISMS適合性評価制度認証取得(情報セキュリティマネジメント) (2) 年間4回研修を実施 (3) 年間4回研修を実施	
経済	DXの推進	ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により働き方改革や業務の効率化、ビジネスモデルの変革に取り組みます	①AIやPRAの業務への導入・活用	
			②2024年度までに導入	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。